

2020年12月23日(水)第4水曜祈祷会

ルカの福音書1:57~66

「従順が与えてくれるもの」

■「分かち合える人の大切さ」…(1:39~56)

- ①「マリアは立って」 → マリアは主のことば信じて、信仰を持ってエリサベツに会いに行った。
- ②「あなたは女の中で最も祝福された方」 → エリサベツはマリアの信仰を喜びたたえた。
- ③「私のたましいは主をあがめ」 → マリアは小さな者を顧みてくださった主をほめたたえている
- ④「主のあわれみは、代々にわたって…」 → 未来の事を過去形で、マリアの確信を表す祈り

■「従順が与えてくれるもの」…(1:57~66)

1. 約束の成就を見る(1:57~58)

- ①「妻エリサベツは身ごもった。…安静にしていた」(1:25) → 家で( )
- ②「月が満ちて」 → 神の( )が実現する時。人間的な偶然ではなく、神の御業。
- ③「主がエリサベツに大きなあわれみを…」 → 神の恵みを( )ともどもに喜んだ。
- ④「その子はあなたにとって、あふれるばかりの喜びとなり、多くの人もその誕生を喜ぶ(1:14)

2. 信仰による決断(1:59~63)

- ①「八日目になり…幼子に割礼を施す」 → 律法の規定。( )。
- ②「父の名にちなんでザカリヤと名づけようと…」 → 割礼の時に( )習わしだった。
- ③「母親は『いいえ、名はヨハネとしなければ…』」 → エリサベツは( )決心した。
- ④「その子の名はヨハネ」 → ザカリヤも周りに流されずに信仰を持って( )。

3. 人々への証しとなる(1:64~66)

- ①「口がきけないままであった」(1:22) → ザカリヤの( )の結果。沈黙が心を砕いた。
- ②「すると、ただちにザカリヤの口が開かれ…」 → ザカリヤの( )は約束の成就の時(1:20)
- ③「近所に住む人たちはみな恐れを抱いた」 → 一人の従順が人々に神への恐れを抱かせる
- ④「主の御手はその子とともにあった」 → 人々は生まれたばかりの幼子に( )を見た。

まとめ:『従順が与えてくれるもの』

- ・ザカリヤは口がきけない間、何を考えていたのでしょうか。
- ・ザカリヤはなぜ神をほめたたえたのでしょうか。
- ・信仰者にとって最も大切なことは何でしょうか。

「御名のために、すべての異邦人の中に信仰の従順をもたらすためです。その異邦人の中であって、あなたがたも召されてイエス・キリストのものとなりました。」 (ローマ人への手紙1:5、6)